

平成21年度
決算総会

一般社団法人への移行承認

高山友三郎会長を再任

「いきたい」と語った。

（株）東京都医薬品配置協会は第三十
回定期決算総会を六月十一日午後三
時四十分から中野区中野二一九一七
の「なかのZERO」小ホールで開
催、平成二十一年度事業・決算報告
を承認するとともに、公益法人制度
改革への対応として一般社団法人へ
の移行を承認。役員改選で高山友三
郎会長を再任した。

ここで藤井基之前参議院議員の代
理として出席した渡辺徹秘書が七月
の参議院議員選挙での強力な支援を
要請。都衛生安全部の鈴木賢二部長
から寄せられた祝電披露のあと、議
長に居野家雅郎相談役を選任し、定
数確認、議事録署名人選任（大澤静
夫、児島清隆の両氏）を行い、議事
を開始。同会の会員数は二百二十四
名で、当日は定款変更に必要な四分
の三以上に相当する会員百九十六名
（本人出席九十二名、委任状提出百
四名）が出席した。

岡田松市副会長の司会で始まり、
あいさつに立った高山会長は、薬の
専門家として登録販売者試験への積
極的な挑戦を求めるとともに、同会
の薬物乱用防止等の事業が行政や他
団体から高く評価されていることを
紹介しながら「ただ単に商売するだ
けでなく社会に奉仕する気持ちや行
動が大切。これを後世に引き継いで



謝辞を述べる放生和夫氏

志摩忠夫副会長から平成二十一年
度事業報告、会計担当の岡田副会長
から同年度収支決算報告が行われ、
久住英雄監事の監査報告とともに、
いずれも異議なく承認。同年度の経
常収益は一千二百三万五千五百八
十二円（うち会費収入は八百八十六万
三千元）で、経常費用は一千八十四
万七千三百四十四円。差し引き百十九万

四千八百四十八円
を含めた正味財産
期末残高は六百八
十八万四千六百二
十四円となった。

定款変更の件は、服部利明副会長
兼専務理事が公益法人制度改革への
対応を説明し、「これまで献血や薬
物乱用防止など公益性に優れた事業
に取り組んできており、担当官庁と
も相談しながら公益社団法人への移
行に向けて努力してきたが、今まで

以上の公益活動が求められ、現在の
協会の状況から見ても資金力不足や
体力不足は否めない中で一般社団法
人への道を選択。理事会でも承認を
いただいた」と述べ、一般社団法人
への移行を踏まえた定款変更を理解
を求め、「新定款の下、心機一転、
社会貢献活動に傾注し都民一人ひと
りの保健衛生向上に一層努めていき
たい」と語り、同議案は異議なく承
認を得た。

平成22年度予算総会
事業費と一般管理
費の配分を見直し



高山友三郎会長

（株）東京都医薬品配置協会の平成二
十二年度予算総会は、三月十九日午
後一時三十分から中野区の「なかの
ZERO」小ホールでひらかれ、会
員百四十六名（うち委任状出席四十
八名）が出席した。

岡田松市副会長が司会を務め、あ
いさつした高山友三郎会長は平成二
十一年六月に施行された改正薬事法
に言及し、既存配置販売業者には年
間三十時間以上の一定水準の研修・
講習が、また新法配置販売業者には

役員改選では、各支部並びに富山
県部会、奈良県部会、帝都組合、東
配組合等から指名推薦された理事二
十名、監事三名が発表され、これを
了承。理事互選で会長に高山友三郎
氏を再任した。

選任された理事並びに監事が壇上
に並ぶ中、高山会長は会員から負託
された各役員がそれぞれの職責を果
たすことを求め、業務行政協力をは
じめ各種事業に邁進する決意を披露
し再任あいさつとした。

ここで表彰式に移り、優良配置販
売業者並びに永年勤続配置販売業者・
従事者に高山会長が長年の労苦を称
えながら記念品を添えて表彰状を授
与した。

表彰者を代表して優良配置販売業
者表彰を受賞した放生和夫氏が謝辞
を述べ、志摩副会長の閉会の辞で総
会を終了した。

このあと場所を移して開催された
懇親会の席上、配置薬議員連盟幹事
長を務める嶋下一郎衆議院議員の秘
書が来席、業界発展への協力を約し
たほか、退任役員への感謝状贈呈も
行われた。

なお当日は決算総会に先立ち、午
後一時三十分から同所で一定水準資
質向上薬事講習会を開催、二百五十
名が受講した。

薬都広貫堂（株）東京支店の岸岡勝美
管理薬剤師が講師を務め、厚生労働
省「登録販売者試験問題作成の手引
き」の第一章・医薬品に共通する特
性と基本的知識について、スライド
を用いながら明快な講義を行った。

5委員会設置

なお六月二十五日に開催した理事
会で新役員の役割分担等をつぎのと
おり決定した。◎は委員長、○は副
委員長

【教育指導委員会】◎志摩忠夫、○
岡田松市、○室井邦春、大澤静夫、
瀬戸政信、岩瀬一郎、八島康和、
植村大司、岡田譲治、居野家雅人、
居野家智、芦原英也

【広報委員会】◎室井邦春、○岡田
松市、岡田譲治、栗田勝治、新舗
優、植村大司

【総務委員会】◎服部利明、○館川
英夫、柚木繁、大澤静夫、久住英
雄

【学術担当委員会】◎高山友三郎、
○服部利明、室井邦春、矢郷徳壽、
瀬戸政信

【公益事業委員会】◎岡田松市、栗
田勝治、大澤静夫、居野家雅人、
居野家智（以上東部支部）、○室
井邦春、柚木繁、瀬戸政信、新舗
優、八倉巻治（以上多摩支部）、
○野上武雄、岩瀬一郎、高見由紀
子、八島康和、芦原英也（以上西
部支部）

体制省令に基づく研修・講習の実施
がそれぞれ求められていることを指
摘しながら、同協会が実施している
一定水準資質向上対策講習会への積
極的な受講を要請。

また高山会長は公益法人制度改革
への対応について「制度改革で一般
社団法人、一般財団法人、公益法人
に分類されることになる。当会はこ
れまでも公益性に優れた事業を展開
してきており、公益法人への移行を
目標に各種説明会に参加し専門家へ
の相談も重ねてきたが、新公益法人
の認可を得るには高いハードルを乗
り越えねばならず、現在の資金状況
や他の公益事業への協力においても
負担が重く断念した。一般社団法人
への移行に向けて準備を進めている」
と報告した。

併せて同会長は二十二年予算案
について、事業費と一般管理費の比
率を五〇対五〇に配分したことにつ
いて、「わかりにくい部分もあるかと
思うが、税理士の指導の下、適切に
処理している」と述べ、理解を求め
たほか、一般社団法人移行に伴う定
款変更等に関し、六月の決算総会前
に原案を示し、決算総会時に承認を
求める意向を示した。

議長に居野家雅郎相談役、議事録
署名人に室井邦春、野上武雄の両理
事を選任して議事を開始。

志摩忠夫副会長から平成二十二年
度事業計画、会計担当兼務の岡田副
会長から同年度収支予算案（収支一、
〇三四万八、〇〇〇円）がそれぞれ
詳細に発表され、原案を可決した。

事業計画では、指導教育事業として
▽定期薬事講習会（決算総会並びに
予算総会時に開催）▽一定水準資質
向上対策講習会（年五回実施）並び

に通信講座▽都委託講習会（九、十
一月に二回実施）▽臨時講習会（必
要に応じて開催）——を盛り込んでい
るほか、麻薬・覚せい剤等撲滅運動
や献血への協力を中心とした業務行
政協力事業、都民に対する薬事知識
の普及啓発事業、電話による消費者
相談事業、支部活動事業などを掲げ
た。収支予算においては、事業費支
出として五百八十四万一千円、管理
費支出として四百三十万三千円を計
上。同年度の協会費は前年と同額
（甲一万九千円、乙一万七千円）と
した。

少憩後、今年三回目となる一定水
準資質向上対策講習会を開催、百九
十七名が受講した。日配商東京都支
部が共催。

清水虎雄救心製薬（株）薬事部長が講
師を務め、厚生労働省「登録販売者
試験問題作成の手引き」の第四章・
薬事関係法規・制度について約二時
間にわたって詳細な講義を行った。

表彰受彰者

◆優良配置販売業者
板橋国雄（多摩支部）
放生和夫（西部支部）

◆永年勤続表彰

【配置販売業者】

50年＝矢郷徳壽、八倉巻治
安川晴雄、工新三郎

【配置従事者】

40年＝格内正明
（株）富山堂薬品

10年＝和田裕二
（株）富山堂薬品

俵 洋輔、伊藤洋一
細見大介、村野栄一
（以上三山薬品株）

5年＝小林雄一、大河内徳久、
大戸亜美
（以上三山薬品株）